

文書処理

状況	決定済	処理形態	文書発受信										
件名	【配設達第284号】DE電線（引込用ポリエチレン絶縁電線）導入について												
起案箇所	配電本部 配電管理グループ, 配電本部 配電設備建設グループ, 配電本部 配電技術グループ												
承認印	役職：配電本部 配電設備建設グループ長 氏名：那須 伸昭 日付：2018/09/21 役職：配電本部 配電管理グループ長 氏名：渡邊 勲 日付：2018/09/21 役職：配電本部 配電技術グループ長 氏名：壁村 克樹 日付：2018/09/21												
決定日	2018/09/21												
回答	不要												
回答期限													
<p>標記について、DE電線の導入方法等を整理しましたので、下記のとおり対応ください。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 概要</p> <p>DE電線は低圧停電事故減少や保全費用削減に有効であることから、平成26年度に規格化（KES化）、平成28年に形式承認を完了し、平成28年度より塩害地区に導入する計画であったが、全社収支が厳しいことから導入時期を延期。しかし近年、台風通過後等に広範囲にわたる引込線の火花発生が複数回生じており、耐候性、耐外傷性（耐摩耗性）及び耐トラッキング性に優れたDE電線の導入が急がれる状況にあることから、今年度より導入を開始する。</p> <p>2 導入範囲</p> <p>DE電線の導入範囲は下表のとおり</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>導入エリア</td> <td>塩害地区(台風塩害地区を含む)</td> </tr> <tr> <td>導入サイズ</td> <td>2.6mm、3.2mm、14mm²</td> </tr> <tr> <td>導入時期</td> <td>平成30年10月1日以降で各所の準備※1出来次第 ※1 工事会社におけるDE電線(副資材)の準備 等</td> </tr> <tr> <td>導入工事</td> <td> (1) 都度工事※2 ○ 塩害地区の供給・要請等で引込線払出を必要とする工事 ※2 引込線移替等で現場流用可能な場合、DE電線化は行わない ※2 臨時工事はDV電線も使用可 (2) 計画工事 ○ 不良取替や火花発生実績のある箇所の引込線を計画的に改修 (予算はH30年度配電工事予算書にて配分済み) </td> </tr> <tr> <td></td> <td> 撤去DV電線(甲品)の取扱い ○ 塩害地区においても、以下の場合はDV電線を取付可能とする ①臨時工事 ②DV電線引込変更工事時の足し線 </td> </tr> </table>				導入エリア	塩害地区(台風塩害地区を含む)	導入サイズ	2.6mm、3.2mm、14mm ²	導入時期	平成30年10月1日以降で各所の準備※1出来次第 ※1 工事会社におけるDE電線(副資材)の準備 等	導入工事	(1) 都度工事※2 ○ 塩害地区の供給・要請等で引込線払出を必要とする工事 ※2 引込線移替等で現場流用可能な場合、DE電線化は行わない ※2 臨時工事はDV電線も使用可 (2) 計画工事 ○ 不良取替や火花発生実績のある箇所の引込線を計画的に改修 (予算はH30年度配電工事予算書にて配分済み)		撤去DV電線(甲品)の取扱い ○ 塩害地区においても、以下の場合はDV電線を取付可能とする ①臨時工事 ②DV電線引込変更工事時の足し線
導入エリア	塩害地区(台風塩害地区を含む)												
導入サイズ	2.6mm、3.2mm、14mm ²												
導入時期	平成30年10月1日以降で各所の準備※1出来次第 ※1 工事会社におけるDE電線(副資材)の準備 等												
導入工事	(1) 都度工事※2 ○ 塩害地区の供給・要請等で引込線払出を必要とする工事 ※2 引込線移替等で現場流用可能な場合、DE電線化は行わない ※2 臨時工事はDV電線も使用可 (2) 計画工事 ○ 不良取替や火花発生実績のある箇所の引込線を計画的に改修 (予算はH30年度配電工事予算書にて配分済み)												
	撤去DV電線(甲品)の取扱い ○ 塩害地区においても、以下の場合はDV電線を取付可能とする ①臨時工事 ②DV電線引込変更工事時の足し線												

③緊急時の仮工事

その他

○さらに、撤去DV電線(甲品)の在庫が多い場合、配電事業所判断にて塩害地区においてDV電線の使用可能地区を指定することで、その他工事での使用も可能とする。
 その際は、指定した塩害地区について工事会社へ情報提供すること。
 ※塩害地区の引込線は全数DE電線化していくため、上記①～③項を除きDE電線での施工を原則とするが、一部委託工事会社エリアが全て塩害地区であり、上記運用では、撤去DV電線(甲品)が大量に不要となることが懸念されるため、上記運用とした。

3 設計方法

○ DE電線を適用する場合の設計方法等については、以下のとおりとする。

① 材料区分

DE電線は副資材

② DE電線のサイズ選定

「架空線工事マニュアル」のDV電線のサイズ選定方法と同じ

※「架空線工事マニュアル」へのDE電線織り込みは別途実施

③ 設計方法と精算処理

現状では総合オンライン上にDE電線の登録がないため、DE電線を適用する際は、これまで同様にDV電線で設計を行い、DV電線との差額を協定処理とする。

「協定単価」及び「本店一括協定単価コード」は資料1のとおり。

※ 総合オンラインへのDE電線登録については、次回委託工事単価改定時に実施予定。改定後はDE電線の単価が設定されるため、協定単価の入力は不要。

④ 自動/対話設計時の対応 (詳細は資料2参照)

【自動設計の場合】

工事会社が工事箇所の管理区(塩害/一般地区)に応じて使用電線を選定(DE/DV)し、DE電線使用時は竣工時に協定単価を入力。

※塩害地区の情報については、各事業所より工事会社へ適宜情報提供すること。

【対話設計の場合】

設計者が設計書作成時に特記事項へDE電線使用の旨を記載し、協定単価を入力。

⑤ お客さま異動入力

DE電線使用時は、委託工事会社にて竣工入力時にお客さま異動入力画面より、「引込線項目/線種」にて「DE」を選択のこと。

また、当社による竣工審査の際には、同画面で「DE」が選択されていることを確実に確認すること。

※ 上記画面入力により、ネットワークお客さま管理システムの引込線データが更新されるため、必ず入力すること。

詳細は、2016年9月23日付文書「引込線設計データのNWお客さま管理システムへの自動登録について」を参照。(資料3)

※ 次回委託工事単価改定時のシステム改修後は、塩害地区であれば自動的に「DE」が選択される予定。

⑥ 遠制電源(低圧線)

遠制電源の低圧形態として、一般お客さま供給の必要がない場合は遠制専用電源(低圧)としてDV14mm線を使用し「自動化工事マニュアル」(P20)に記載されているが、上記DE電線の導入範囲に該当する場合は、DE電線を使用。

ただし、DE電線の低圧線としての資材登録等に時間を要することから、実施時期は来年度(H31/4予定)からとし、今年度中はこれまで同様にDV電線にて対応。低圧線としてDE電線が使用可能となった際は、別途周知予定。

※「自動化工事マニュアル」への織り込みは別途実施

本文

- 4 DE電線工事
 - DE電線の工事方法や関連使用材料（がいし、電線ヒューズ、接続材等）は、DV電線工事と同じ。
 - DE電線とDV電線の導体部の仕様（材質・形態）は同じであるため、DE電線とDV電線の接続は問題なし。

- 5 DE電線仕様
 - DE電線の仕様については、KES I208（資料4）を参照。
 - DE電線の外装の色は、DV電線と異なるため注意のこと。
（DE電線の外装は黒色であり、線心の識別は外装に施す色帯の色によって行う（資料5参照））

- 6 DE電線導入エリアにおける直営対応
 - 直営対応（現サ等）についても、4の工事方法によりDE電線での改修が基本的な考え方（※1）であるが、資材登録（※2）が完了するまでは、DV電線での改修も可能とする。
 ※1 DE電線を直下目品として購入し使用
 ※2 直営払出用としての資材登録に時間を要することから、払出可能時期は来年度（H31/4予定）からとする。直営払出用としてDE電線が使用可能となった際は、別途周知予定

- 7 DE電線取扱いメーカー（2社のみ）
 - 大電株式会社
 - 西日本電線株式会社

- 8 その他
 - 各配電事業所の塩害地区（管理区）〔2018. 8. 25時点〕は、資料6を参照。

以上

写送付先：九電委託工事会社協議会事務局
全九州電気工事業協会

扱：配電本部 配電技術グループ 田中（99-3841）
配電管理グループ 篠原（99-3822）
配電設備建設グループ 宮谷（99-3834）

添付ファイル	説明 【資料1】 DE電線増分協定コード・単価.xdw 【資料2】 DE電線適用時の業務処理変更フロー図.xdw 【資料3】 【周知】引込線設計データのNWお客さま管理システムへの自動登録について.xdw 【資料4】 KES I208 引込用ポリエチレン絶縁電線（DE電線）.xdw 【資料5】 DE電線断面図.xdw 【資料6】 塩害地区の管理区リスト.xls
関連情報	
保存年限	永久

設定詳細

送付先 (九州電力)	北九州送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、福岡送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、佐賀送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、長崎送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、大分送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、熊本送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、宮崎送配電統括センター 配電部 配電建設グループ、鹿児島送配電統括センター 配電部 配電建設グループ
---------------	---

写送付先 (九州電力)	配電本部 配電戦略企画グループ, 配電本部 配電系統高度化グループ, 配電本部 配電管理グループ, 配電本部 配電設備建設グループ, 配電本部 配電教育グループ, 配電本部 配電技術グループ, 配電本部 計量システム開発グループ, 配電本部 配電制御高度化グループ, 配電本部 配電システム開発グループ, 配電本部 配電技術センター 用品管理技術グループ, 配電本部 配電技術センター 電力品質・保全技術グループ, 配電本部 配電技術センター 工事技術グループ							
送付先 (九州電力以外)								
写送付先 (九州電力以外)								
受信確認	不要							
送付形態	決定後即時送付							
送付日								
公開範囲								
申請者	宮谷 肇							
申請日時	2018/09/21 11:31							
承認経路	承認経路	順序	承認者	代行承認者	コメント	状態	承認日時	受信日時
			承認者役職	代行承認者役職				
		[最終]	 那須 伸昭	 河村 清紀		最終決定	2018-09-21 11:51:29	2018-09-21 11:35:26
			配電本部 配電設備建設グループ長	配電本部 配電設備建設グループ 課長				
		[↑02]	 渡邊 勲	 篠原 輝明		決定	2018-09-21 11:35:26	2018-09-21 11:33:23
			配電本部 配電管理グループ長	配電本部 配電管理グループ 副長				
[↑01]	 壁村 克樹	 田中 将		決定	2018-09-21 11:33:23	2018-09-21 11:31:42		
	配電本部 配電技術グループ長	配電本部 配電技術グループ 課長						

詳細履歴

作成履歴	最初の文書作成者： 宮谷 肇 作成日： 2018/08/09 15:46:05
更新履歴	修正回数 更新者 更新日 35 宮谷 肇 2018/09/21 10:01:06 34 宮谷 肇 2018/09/21 09:48:00 33 宮谷 肇 2018/09/20 15:16:08 最新のものから数えて3回分が表示されます。